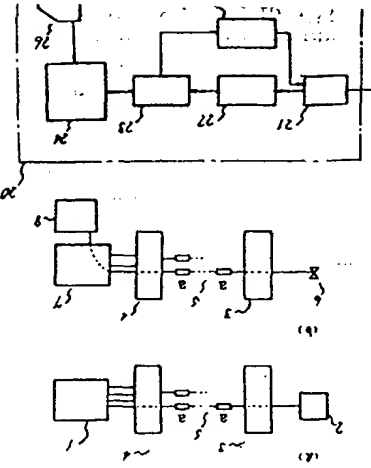


(54) CREDIT NUMBER VERIFICATION SYSTEM
(11) 55-143679 (A)
(43) 10.11.1980 (19) JP
(21) Appl. No. 64-51063 (22) 24.4.1979
(71) NIPPON DENKI K.K. (72) HARUO YANAGI
(51) Int. Cl. G06F15/30, G06F15/20

PURPOSE: To offer users the service speedily while coping with the loss of a credit card, etc., rapidly by centralizing a verifier for credit numbers.
CONSTITUTION: Central credit verifier 1 is connected to each terminal transmitter-receiver 2 via terminal exchange station 3, central exchange station 4 and circuit 5. This verifier 1 is provided with exchange interface part 21 and a verified number received by this interface part 21 from unit 2 is sent via signal reception part 22 to verification part 23, which makes a number check. Then, this checked number is compared to numbers in memory part 24 stored in lost credit numbers and non-payment credit numbers and the result is transmitted from verification result transmission part 25 to interface part 21 to inform unit 2 of that rapidly. When this unit 2 uses terminal telephone set 6, audio transmitter 8 connected to central credit verifier 7 sends audio information on the comparison result of the number to tele-



⑨ 日本国特許庁 (JP) ⑩ 特許出願公開

⑫ 公開特許公報 (A) 昭55-143679

⑬ 公開 昭和55年(1980)11月10日

庁内整理番号

7737-5B

7165-5B

発明の数 1

審査請求 未請求

(全 3 頁)

東京都港区芝五丁目33番 1 号日

本電気株式会社内

出 願 人 日本電気株式会社

東京都港区芝5丁目33番 1 号

⑭ 代 理 人 弁理士 内原晋

⑮ クレジット番号検証方式

特 願 昭54-51063

出- 願 昭54(1979) 4 月24日

⑯ 発 明 者 柳陽雄

⑰ Int. Cl.²
G 06 F 15/30
15/20

識別記号

7737-5B

7165-5B

発明の数 1

審査請求 未請求

(全 3 頁)

東京都港区芝五丁目33番 1 号日

本電気株式会社内

出 願 人 日本電気株式会社

東京都港区芝5丁目33番 1 号

⑭ 代 理 人 弁理士 内原晋

1. 発明の名称

クレジット番号検証方式

2. 特許請求の範囲

回線経由で送られたクレジット番号の合・否

を検証する手段と、検証結果を送送する手段を

兼用して設け、サービスマンを受ける端末装置また

は端末交換局側に前記手段に7クレジットする手段、

被検証クレジット、クレジット送出手段および検証の密

果を受信する手段とを有することを特徴とする

クレジット、クレジット番号検証方式。

3. 発明の詳細な説明

本発明はクレジット、クレジット番号を検証するシステム

に関する。

本発明の目的は、真偽あるいは通話料金等を

クレジット、クレジットで支払う場合、容易に誤クレジット、

番号の合否(正しい/正しい/不正クレジット

クレジット番号)を検証し、必要に応じて新サー

ビスを供給するためのクレジット、クレジット番号検証方式

を提供することにある。

本発明によれば回線経由で送られたクレジット

クレジットの合・否を検証する手段と、検証結果を

送送する手段を兼用して設け、サービスマンを受け

る端末装置または端末交換局側に前記手段に7

クレジットする手段、被検証クレジット、クレジット送出手

段および検証の結果を受信する手段とを有する

ことを特徴とするクレジット、クレジット番号検証方式が提

られる。

次に本発明につき図面を参照して説明する。

第1図(a)~(c)は本発明による種々の実施例を

示す中継方式図である。

第1図(a)はクレジット、中央検証装置1と端末

装置2が交換局A3とC局4および回線5を介

して接続される場合を示す。また、第1図(b)は

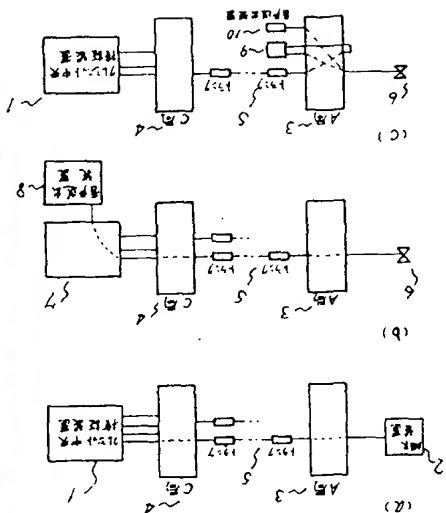
端末として電話機の場合で、クレジット、中央検

証装置7側からは音声送出手段8から音声で検

証結果が送出手段9に送られる。この場合電話機6はプ

代理人 井 原 士 郎

4. 図面の簡単な説明
- 第1図(a)〜(c)は本発明の実施例を示す中継方式、第2図は本発明によるクレンジング中央装置の一例を示すブロック図である。
- 1 ……クレンジング中央装置、2 ……端末受信装置、3 ……端末交換局、4 ……中央交換局、5 ……回線、6 ……端末電話機、7 ……クレンジング中央装置（音声送出装置）8 ……音声送出装置、9 ……交換局音声受信・送出装置・装置結果受信装置、10 ……交換局音声送出装置、20 ……クレンジング中央装置、21 ……交換局インポート部、22 ……信号受信部、23 ……装置部、24 ……メモリ部、25 ……装置結果送出部、26 ……入力部。



第1図

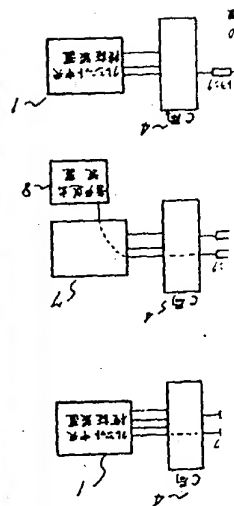
- レスを供給できる効果がある。

21を介して被検証番号受信部において受信し例を示すブロック図である。局インポート部第2図は、クレンジング番号検証装置の一例可能となる。

能となり、更にいらず等に対する検証規則がなく（信号（直流・交流・パルス）での送受も本サービスが受けられるし、端末が音声では性は高くなる。またロータリダイヤル電話機では經由して送出するなどが不要となるので信頼側に装置が必要となるが、Pは信号をトランスするものである。本実施例の場合は端末交換局は音声送出装置10による音声にて結果を伝達が受信する装置9を設け、端末が電話機の場合、中央へ中継し、逆に中央からの情報もA局図(c)は端末交換局(A)側で端末からの情報を受P)で信号の送出が必要となる。さらに第1号)にてend 10 end(エンド・ポイント)から交換信号(P)は即ちによる組合せ交換信号間回線では必ずしもダイヤルパルスは遠通出来シ、ダイヤル形の必要がある。同故なら一般局

本発明は以上説明した如く、クレンジング番号の番号はメモリ部に入力してあり、これとの照したクレンジング番号や不払いクレンジング前にへ、P番号を付加すればよい。また前失しを検証する。複数会社で共用する場合は番号の証(チェック)コードが付いているので、これクレンジング番号は各クレンジング会社特有の検を行なうためのダイヤルパルス平により構成されなを入力部26はメモリ部24の内容の加除れ局インポート部21を介して送出される。

換(又は音声で送出する場合に音声に交換)し果は局回線信号等に検証結果送出部において第-とと比較検証される。検証部23での検証結果、P番号等が記憶されているメモリ部24のメモリ方法や前失クレンジング番号・不払いクレンジング番号は検証部23において番号クレンジング番号55-143679(2)



ト会社特有の誠
いるので、これ
る場合は、身の
いゝ。また紛失し
ノ・ア・ソ・ビ・ヤ
とき、これとの照
・ソ・ビ・ヤ・番
に對し迅速に對処
ス・チ・キ・その

1-143679(2)
おいて番号ナ
・不致レシ
り部24のナ
37の検査結
部にかいて要
し
て送附される。
40内書の加録
ににより構成され

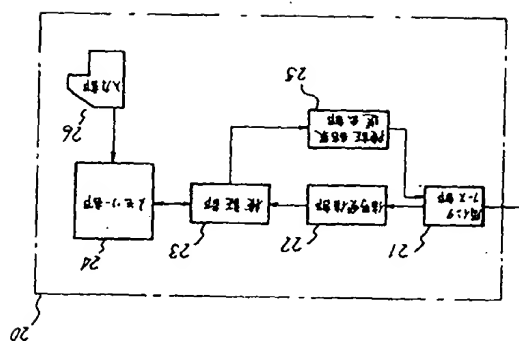


表 2.7